

日本の食の安全特別コース

Progress

日本の食の安全特別プログラムの現状と展望

就職活動が、留学生にとって厳しいのは毎年のことです。慣れない日本語で、5社にエントリーし、何度も大阪や東京に面接に行く学生もいます。現在、売り手市場となっているとの報道も少しありますが、大手企業をはじめ、相変わらず非常に競争が激しいです。

今秋、本プログラムは7名を9期生として迎えました。4年前に文部科学省から国費優先配置に採択されてから、毎年5名の学生には国から奨学金が支給されていますが、近年文部科学省の応募基準は高くなっています。最終年度にあたる来年は5名の国費留学生に加え、5名の私費留学生を受け入れることが次回国費優先配置に申請できる条件となっています。運良く採択されても、今後は国費留学生と私費留学生の数が同数、あるいは私費留学生が国費留学生を上回る人数でないとその後の国費優先配置への採択の可能性は無くなるそうです。

そのような現状ではありますが、「日本の食の安全特別プログラム」は、さらに発展をしていきたいと考えております。特に、渡日前に約束できる自前の奨学金の充実により、私費留学生への奨学金の支援を行っていくことで、継続を果たしていきたいと考えておりますので、是非ともご支援の程お願い申し上げます。

最近では留学生の日本語習得に關しての意識が高くなり、修了時までに東南アジア圏の学生は日本語能力試験N2以上、漢字圏の学生はN1程度を取得する学生が多くなっています。それでも、企業内で日報を提出するにあたり、日々、直属の上司の方々には並々ならぬ、ご支援を頂いていることは容易に推測できます。今後ともご支援・ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

(田村教授)

Report

第7期生修了式・第9期生入学式

平成29年9月25日(月) 香川大学農学部において第7期生の修了式が学内・学外の関係者の皆様にご列席頂き、厳かに開催されました。長尾学長より9名の修了生に学位記が授与され、片岡研究科長より修了生に向けてお祝いと温かい激励の言葉が贈られました。7期生9名を無事に社会に送り出す事が出来ました。それぞれの今後の益々の活躍が期待される所です。



また、10月10日(火)は第9期生7名の入学式が農学部において開催されました。寛新学長と深井新研究科長より歓迎と激励の言葉を頂き、来賓の四国経済産業局の久保様とテンプルマーク㈱の原山様より心温まるご祝辞を頂戴しました。新入生を代表して、フィリピンからの留学生のタンソジェシカさんが決意表明をしました。厳かな雰囲気の中、新入生7名は緊張した面持ちでこれから始まる日本での勉強や生活への期待を胸に、お祝いの言葉に耳を傾けていました。

(片山客員教授)



News

8期生の中間発表会

新入生の入学式終了後に8期生の中間発表会を行いました。学生は緊張しながらも自分の研究分野についてプレゼンテーションをし、テンプルマーク㈱、㈱ニチレイフーズ、日本ハム㈱、不二製油㈱、㈱オカベの企業の方々がご傾聴下さいました。質疑応答では、さらに専門的に説明を求められる場面もあり、学生達は今後の課題も見えてきた様子でした。



(マリン学務係員)

Report

「国際インターンシップ in バンコク2017」を実施しました

9月14日から28日までの15日間、タイ・バンコクにおいて、9回目の国際インターンシップを実施し、日本人学生16名が参加しました。

カセサート大学にて、水産学部との国際共同教育プログラム(1単位)として実施したこのインターンシップで、学生達は英語で食品の安全性や機能性及び食品開発や製造についての講義を受け、レトルトのグリーンカレーやスナックの製造、さらにその物性測定などの実習に参加しました。また、タイに進出している日系食品会社であるスラポンニチレイ(冷凍食品)とサイアムキング醸造(みりん製造)工場を訪問し、海外で日本に輸出される食品の製造現場を見学させていただきました。

バンコク滞在中にはタイ人学生との学生間交流を行い、カセサート大学やアサンプシオン大学の学生達と一緒に讃岐うどんを作ったり、ダンスパフォーマンスを披露したりして、交流を深めました。また、今年8月から9月に本学を短期訪問したタイの学生達との再会も果たしました。参加した学生はこの2週間で大いに成長した様で「海外の大学や日系企業を訪問することで、日本を客観的に見つめるきっかけになった」「商品開発や企業の考え方など香川大学では学べないことを学べた」などの声が聞かれました。



スラポンニチレイにて



サイアムキング醸造にて

Profile

第9期生の紹介

1. フリガナ
2. 氏名
3. ニックネーム
4. 最終学歴
5. 出身国
6. 今後の抱負



タンゾ ジェシカ マエ ヘルナンデス
Tanzo Jessica Mae Hernandez
(ジェシカさん)
セントトーマス大学卒
(フィリピン出身)

子どもの時から日本語と日本の文化に興味があり日本に留学するのが夢でした。そのため、私は食の安全の知識と企業文化を身につけて、ちゃんと社会人として日本で働きたいです。



ブー ビッ ハイ
Vu Bich Hanh
(ハインさん)
ホーチミン工科大学卒
(ベトナム出身)

香川大学で勉強できることをとても光栄に思っています。なぜなら、香川大学では様々なことを学べるからです。先生からだけでなく先輩や友人からもたくさんのことを学びたいと思っています。



スミナル アルム ティアス
Suminar Arum Tiya
(アルムさん)
ディボネゴロ大学卒
(インドネシア出身)

私は、香川大学で学べることにとても感謝しています。また、先生や先輩や友達のおかげで、日本で楽しく生活ができています。社会で活躍できる人材になるために様々なことに参加したいです。



ヨウ メイ
姚 明 (Yao Ming)
(ヤオさん)
浙江工商大学卒
(中国出身)

私は日本製品を愛しています。なぜなら、人間性や高品質だからです。食の安全特別コースでは食の安全と日本文化を学びます。日本の食品会社で、日本製の真の美味を知りたいと思っています。



フェルミン ジメネス ホセ アントニオ
Fermin Jimenez Jose Antonio
(アントニオさん)
グアダハラ大学卒
(メキシコ出身)

初めまして、アントニオと申します。香川大学で日本の食の安全特別コースを勉強しに来ました。日本の食の安全だけでなく、日本文化や社会などにも興味があります。よろしくお願ひいたします。



コウ パンシ
黄 晚恩 (Ng Wan Sze)
(コウさん)
台湾国立高雄大学卒
(マレーシア出身)

私は日本の食べ物や文化、親切な人々に触れたくて、日本で勉強しています。日本とマレーシアは気候や言語など違うことも多いので、自分自身にとって大きな課題ですが、挑戦していきたいです。



グイ キチ
倪 吉 (Ni Ji)
(ニージーさん)
浙江工商大学卒
(中国出身)

日本はアジアにおける先進国の一つであり、食品分野においても優れた技術力で他国をリードしているため、日本へ留学しました。これから専門知識や日本の文化を学ぶために、頑張っていきます。